

桜の名所をじっくり紹介

今年、全国各地で記録的な大雪が降るなど長くて寒い冬でしたが、ようやく暖かい春がやってきました。春といえば花見。今月は、町内の桜の名所をご紹介します。

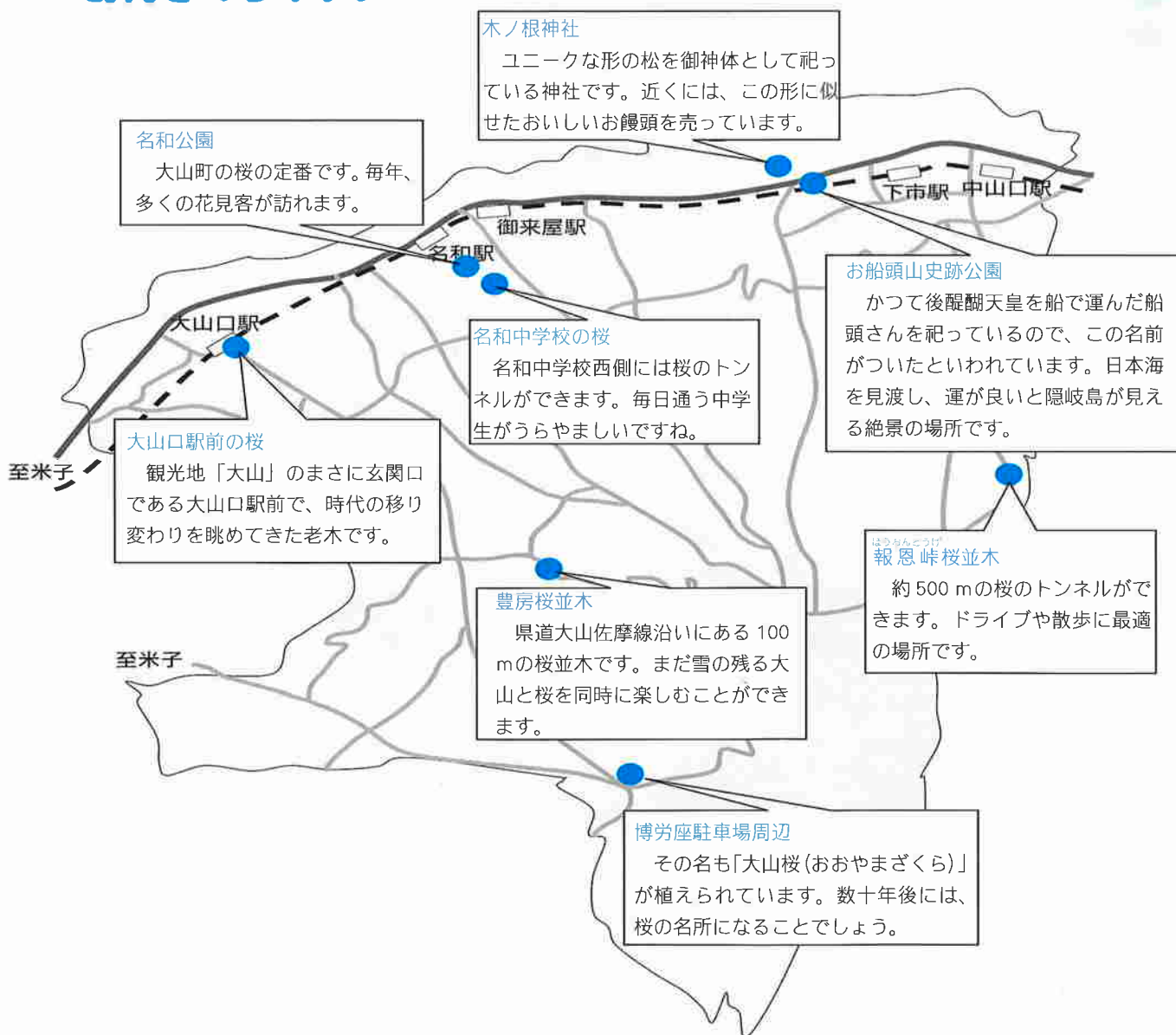
町内で桜の名所といえば、まず名和公園を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。明治16年に初めて名和神社参道に桜が植えられて以来、現在では園内の約300本のソメイヨシノが淡いピンクの花を競うように咲かせます。毎年4月上旬になると多くの花見客で賑わいます。

次に、とっておきの場所をご紹介します。この時期、県道赤碕大山線が中山から香取へ向かう途中の報恩峠ほうおんとうげに約500本の

の桜のトンネルができます。これは約40年前、県道の開通を祝いソメイヨシノ、八重桜などが植えられたものです。ソメイヨシノが散った後に、八重桜が開花し、長期間桜を楽しむことができます。道沿いには「文芸の小径」という遊歩道が整備されています。50数基ある俳句や短歌の文学碑の中をのんびりと過ごすことができます。

このほかにも町内には、至るところに桜が植えられています。例年は4月上旬頃、山沿いだと4月中旬頃が見頃になります。下記のマップを参考に、花見の計画を立ててみてはいかがでしょうか。

～町内さくらマップ～



木ノ根神社
ユニークな形の松を御神体として祀っている神社です。近くには、この形に似せたおいしいお饅頭を売っています。

名和公園
大山町の桜の定番です。毎年、多くの花見客が訪れます。

お船頭山史跡公園
かつて後醍醐天皇を船で運んだ船頭さんを祀っているので、この名前がついたといわれています。日本海を見渡し、運が良いと隠岐島が見える絶景の場所です。

名和中学校の桜
名和中学校西側には桜のトンネルができます。毎日通う中学生がうらやましいですね。

大山口駅前
観光地「大山」のまさに玄関口である大山口駅前、時代の移り変わりを眺めてきた老木です。

報恩峠桜並木
約500mの桜のトンネルができます。ドライブや散歩に最適な場所です。

豊房桜並木
県道大山佐摩線沿いにある100mの桜並木です。まだ雪の残る大山と桜を同時に楽しむことができます。

博労座駐車場周辺
その名も「大山桜(おおやまざくら)」が植えられています。数十年後には、桜の名所になることでしょう。